

## 海外安全対策情報（2017年4月～6月）

### 1 社会・治安情勢

4月5日警察報道によると、3月中旬よりマサカ県、ルウインゴ県、ブコマンシンビ県、カルング県の4県（首都カンパラ市より南西約130キロ）にて犯罪が多発しました。最も影響を受けたルウインゴ県では、3名が殺害され31名が負傷する事件が発生し、マサカ県でも3名の女性が強姦される事件が発生しました。ウガンダ政府は対策として、23時以降の外出禁止令及び約100名の武装兵士を4県に配置し巡回を強化しました。その後、同事件に関与したとみられる容疑者84名を逮捕、最終被害件数はブコマンシンビ県106件、ルウインゴ県14件、マサカ県12件、センバブレ県7件と報告されました。

5月11日、36名の外国人が有効な査証を所持していなかったため、入国管理局により逮捕されました。また、今年の3月末までに外国人204名が強制退去を命じられました。

6月3日、当地の政府機関、金融機関、民間企業等24団体がサイバー詐欺の被害に遭い、過去1年間で670億シリングの損害があったと警察が発表しました。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪

#### （1）盗難・強盗事件

##### ア 邦人被害事案

○4月、ガソリンスタンド内に駐車していた際に、サイドミラーが盗まれる被害が1件発生しました。

○4月、マーケットや人が大勢集まる場所で、スリ被害が3件発生しました。

○4月～5月、レストランにて、鞆の置引被害が2件発生しました。

○5月、乗合バス（マタツ）内での窃盗被害が1件発生しました。

○6月、住居侵入被害が1件発生しました。

##### イ 邦人以外

○4月20日、カンパラ市、ワキソ県、ムコノ県で40名の強盗犯が逮捕されました。同犯罪者の手口は、住居の壁やフェンスを乗り越え、チェーンソーを使用し住居へ侵入し、ナイフやハンマーなどを使って被害者に暴行を行った後、金品や家電製品を盗みます。また、犯罪の傾向としては、豪雨の日に犯行が行われました。

#### （2）殺人事件（報道された主な事件）

##### ○ムバララ県（Mbarara）

5月11日、ムバララ県では、先月5名のボダボダ運転手が殺害されバイクが盗まれています。今年に入り既に17名が殺害され28台のバイクが盗まれました。

#### ○ジンジャ県 (Jinja)

5月24日、ジンジャ県カベンベ村で30歳男性が、強盗に銃で撃たれ殺害されました。その後、金品及び携帯電話を盗まれました。

#### (3) 強姦事件

邦人が被害に遭ったとの情報には接していませんが、ウガンダにおいては強姦事件が深刻な問題となっています。また、被害者となる女性の大半が未成年者であり、近親相姦が頻繁に発生しています。

#### ○ワキソ県 (Wakiso)

5月29日～6月1日の間に4名の女性の死体が発見されました。また、4名は殺害される前に性的虐待を受けた痕が発見されました。

### 3 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件は発生していません。しかし、ウガンダ政府は近隣国ソマリアの治安向上を目的にアフリカ連合ソマリアミッション (AMISOM) に自国軍を派遣し、ソマリア武装テロ組織「アル・シャバーブ」に対する掃討作戦に参加しています。このため、同組織はウガンダへの反発を強めており、しばしば当国を名指しで報復する旨発言していることから、引き続き注意する必要があります。

また、シリアやチュニジア、バングラデシュで発生した日本人が殺害されるテロ事件をはじめ、ISIL (イラク・レバントのイスラム国) 等のイスラム過激派組織又はこれらの主張に影響を受けた者によるとみられるテロが世界各地で発生しています。したがって、日本人・日本権益がテロを含む様々な事件に巻き込まれる危険があることから、このような情勢を十分に認識して、誘拐・脅迫・テロ等の不測の事態に巻き込まれることがないように、渡航情報及び報道等により最新の治安・テロ情報等の関連情報の入手に努め、日頃から危機管理意識を持つとともに状況に応じて適切で十分な安全対策を講じるよう心がけてください。

テロ事件ではありませんが、下記のようなテロ容疑者の逮捕事案がありました。

○5月26日、ブシア県 (ウガンダ、ケニア国境) で2名のテロ容疑者 (ソマリア人) が逮捕されました。逮捕時、同容疑者は名前の異なる4つの旅券を所持していました。

○6月21日、マラバ地区 (ウガンダ、ケニア国境ケニア側) で国際ブラックリストに掲載されているテロ容疑者1名が逮捕されました。逮捕時、同容疑者

はソマリア及びケニア国籍の旅券を所持していました。

#### **4 誘拐・脅迫事件発生状況**

邦人が誘拐・脅迫される事件は発生していません。しかし、ウガンダにおいては人身売買および身代金を目的とした誘拐事件が多数発生しており、邦人が巻き込まれる可能性も否定できないため、滞在中は警戒を怠ることのないよう十分注意してください。

○ワキソ県 (Wakiso)

6月3日、ワキソ県のナムゴンゴ地区で30歳の女性が2ヶ月の赤ちゃんを盗もうとして逮捕されました。

#### **5 日本企業の安全に関わる諸問題**

対日感情が良好なこともあり、日本企業であることを理由に標的とされる可能性は低いですが、上記「テロ・爆弾事件発生状況」のとおり、テロが世界各地で発生していることを踏まえれば、日本人・日本権益がテロを含む様々な事件に巻き込まれる危険も排除できませんので、十分注意のうえ安全対策を怠らないよう努めてください。

以上